

理想の自分を求めて

～ウエルカムサロン来院のあなた様へ～

自立編



本当の自分を追い求める 寄田幸司

はじめに

こんにちは、ヨリタ歯科クリニック院長寄田幸司です。この小冊子は

「**理想の自分を求めて、立身編**」の続編として書きました。

立身編は私の高校、大学時代のエピソードをおもしろおかしくまとめたものです。

そして、設計士志望の私がいかにして、**歯科医師を目指す**ことになったのか詳しく（？）お話しさせていただきました。



お読みになった皆様から様々な感想を頂きました。

- 人の人生なんて、こんなに簡単に変わるものなんですね。
- ヨリタ先生は、何でもスマートに出来るというイメージでしたが、実はいろいろ苦労しているんですね。
- 私が思った通り、かなりいい加減な人だったんだ～。

本当に有難うございます。

今回の小冊子「**理想の自分を求めて、自立編**」では、大学卒業後に起きたさまざま**エピソードを告白**します。

愛と涙と**感動の物語**、是非お読み下さい。

きっとあなたのまだ知らない、**新たな私**を発見することでしょう。

歯科医師免許はもらったものの…

昭和62年5月17日、**歯科医師国家試験の発表**があり、めでたく合格。

晴れて歯科医師になることができました。しかし、それはただ
「**私にお会いした全ての患者様を幸せにするぞ**」との情熱があるだけ。

歯科医師としてはかけ出し。大学での臨床実習では、看護師さんの中で
人気投票ナンバー1（?）の私でさえ、

実際の経験不足はいかんともしがたいものがありました。



気持ちだけが空回りし、いつも冷汗の連続でした。

そして、私が勤務した大型診療所は、競争社会、強いもの、
できるドクターが生き残る、焼肉定食、イヤ、弱肉強食の世界。

（1年目の新米ドクターは、昼休み、他のドクターのために
よく焼肉定食を買いに走っていたのをふいに思い出しました）

**そんな新米医師の私を励まし、勇気づけてくれた人、
私はこの人のおかげで自分に自信の持てる医師になった
といっても過言ではありません。**

この大型歯科医院では、**患者様1人につき1人のドクター**が担当します。

複数のドクターが、患者様を診療するという事はありません。

それは担当医になることで、**その人をより深く知ることができる**ためです。

初めて歯科医師として私を認めてくれた人

しかし新米ドクターは医院での信頼感がないため、小さな虫歯や、かぶせのやり替えなど、本当に簡単な治療を担当する事がほとんどです。歯周病などの**お口全体の治療が必要な患者様**を、診察させて頂く機会はありません。**紹介（指名）**以外は。

その人は、**わざわざ私と指名して下さいました**。高い志と夢しかない私はまず**ハブラシ指導とお口のクリーニング**からはじめました。家では歯ブラシと歯間ブラシの3本を使い分けてくれるほど熱心でした。そのため、**みるみるうちに歯ぐきの状態は良くなりました**。



（お気に入りのオブジェ）

同時に**私はその人の期待にこたえる**べく、多くの本を読み、講習会に参加し、時々上の方の先生の指示をあおぎ、ほぼ1年がかりで**お口全体の治療をさせて頂きました**。

私は多くの事を卒業1年で、その人から学ばさせて頂きました。この間、**歯科医師としてのやりがい**を感じ、充実した日々を過ごす事が出来ました。そして彼女も本当に喜んでくれ、心から感謝していただきました。**その言葉一つ一つが、私の自信になりました**。

私を歯科医師として認めてくれた人は、私の母です。

勤務医の4年間を振り返って

私は献身的な母のお陰で、卒業早期に**様々な技術を身につけ実践する事**が出来ました。

1日に私が診療させていただく患者様は10人程度。

そのため**一人一人丁寧な治療**ができ、また**ゆっくりとお話をさせて頂く**事も可能でした。この4年間で得たものは、**何事にも変えがたいもの**でした。

時々私の師の小室甲（はじむ）先生と、お会いする機会があります。

今でも常に**新しい技術や考え方**を導入していく**向上心**には頭が下がります。



（小室院長と私）



（時にはこんなことも…）

わたしが日頃心がけている「**目標は高く、姿勢は低く**」を、飾らずさりりと実行している姿は、本当に尊敬しています。

少しでも近づきたいと思います。

ここで**あなたの知らないヒミツ（その1）**を告白します。

実は私は小室先生ほどではないですが、かなり白髪が目立ちます。

そのため茶髪が一般的になるもっと前から、**髪を染めています**。（自慢になりませんが）

そして、私が小室先生の域まで達したその時は、髪を染めるのをやめ、

先生と同じ白髪にしようと思います。

（その日が本当に来るのか見当もつきませんが）

4年の勤務医の間、小室先生や先輩の先生方との**素晴らしい出会い**が

今日の私の基礎をなしています。

開業前夜 ～私のはなばなしい活躍が始まるその時～

4年間勤務医を経過しました。平成3年4月27日は最後の勤務。

そして私の送別会です。

この日も**生涯忘れられない日**になりました。

あなたはもうお気づきかもしれませんが、私の人生はその転機となる日、

必ず何かが起こるのです。

この4年間、自分なりに頑張ってきましたが、なにせ、大型診療所、

ドクターの数が半端ではありません。今まで肩書きのない

ただの勤務医の私が主役になることはありませんでした。

しかし、**最初で最後私がヒーローになる日**がついにやってきました。

みんなが私の**約束された成功（？）**を心から祝ってくれる日。



（長男、昂秀です。私にとっては宝物です）

その送別会の始まった直後、ハプニングが起こりました。

体調不良のため、7月出産予定の妻が入院している病院から、緊急出産の電話が…。

「エッ！まだ4月、予定日は7月なのに！」

パニックの私は、そのまま送別会をぬけて病院へかけつけました。

そしてその日、思いもかけず、**長男誕生の日**になりました。

送別会ではヒーローになれませんでした。私には**かけがえのない日**になりました。

仕事も育児もガンバルゾ！

心に誓った**平成3年4月27日**でした。

新たなステージ（開業）へ

かなりしごかれた（？）勤務医を経験した私は
自信满满（ある人はそれを自信過剰、身の程知らずと呼ぶが）で、
ここ、花園で開業する事になりました。**平成3年6月8日のことです。**

妻の実家ということもあり（そのため、今でも妻には頭が上がりません）
ロケットスタート（ある人は逆噴射と呼ぶが）をきる事が出来ました。

現在私が、さらなる夢を抱き、楽しく診療させて頂いてるのも、
養父母、姉妹達の温かい応援、そして妻の協力のお陰です。

ここで**あなたの知らないヒミツ（その2）**をお話します。

私はあなたの前では、**頼りがいのある、信頼のおける歯科医師**としてふるまっています。

しかし一歩、いや半歩家に入ると（ドアを開けたその瞬間）
私は、愛犬のミニチュアダックスフントのチャコ（りんご3個分の大きさ）と同じ、
言い過ぎました、**りんご1個分の大きさ**になってしまいます。

まるで、**不思議の国のアリスのように（？）**



（私たちの家族、ミニチュアダックスのチャコです）

そんな小心者で恐妻家の私ですが、周囲の助けをかりて、
何とか**順調なスタート**をきる事が出来ました。
日頃来院されている皆様には、**感謝の気持ちでいっぱい**です。
しかし、私の人生です。そんなにうまくいくはずありません。
そして、**運命の日**を迎える事になりました。

こんなにも早く予期せぬ苦難が待ち受けているとは

開業以来今日まで、順調だとあなたは思っていることでしょう。

しかし事実は違います。**平成3年10月12日**、独立して半年、

最初で最大のピンチが訪れました。

あの日の出来事は、忘れようとしても忘れることは出来ません。

しかし今日私があるのも、**彼女達3人から多くのことを学んだ結果**です。

本当に感謝しております。

独立開業するまで、私は、歯科医師としての技術の習得ばかりに目がいききました。

そのためもっと大切な**マネージメント（特に人材育成とチームワーク作り）**は本当に素人でした。

その事が原因で3人の新卒衛生士同士（**3人とも意識の高い素晴らしい人でした**）が、

うまく合わなくなり結果的に3人とも…いなくなりました。

全員がその日限りで退職したのです。**それも突然「今日で退職します」**と…。

私はなだめすかし、せめて1ヶ月でもとお願いしました。

次の日は既に**40人の予約患者様**がいました。



そのハプニング後、数日間どのように乗り越えたか記憶があいまいです。

（都合の悪い事はすぐ忘れるタイプです）

幸いそのうちの一人が、帰ってきてくれました。

人生何事も学びです。本当にいい経験をさせて頂きました。

（もう二度と体験したくはないですが）

妻の開業

平成13年4月1日、**もう一つのよれた歯科クリニック**（ひらがな）が、奈良市朱雀（すざく）にオープンしました。

院長はもちろん私の妻、寄田三佳です。

その時まで、彼女は結婚、出産、育児など、ほとんど10年近く、本業から離れていました。

本当にやっていけるのか、私は少し不安でした。

ここであなたにも**一つの（3つ目）のヒミツ**をお教えします。

実は私の妻は私より一つ年上、歯科医師のキャリアも上。

この差（1年）が大きいのです。



（先輩医師の私の妻、三佳です）

何年かブランクがあったとしても、**歯科医師としては私の先輩**、師匠なのです。

私が多くの患者様を診療したとしても、**追い付けない差**なのです。

このため彼女としては、

**「後輩のあなたができるのだから、私はできて当たり前、
本当は私のほうが手は器用なんだから」**

と言い切ります。私は反論できません。

ある事実があります。（あなたは、こんな事とお思いになるかもしれませんが）

私はスタッフ全員が認めるように、**字がヘタ**で読めません。

また絵も小学生の息子より下手です。

彼女は字もきれいで美術も得意です。

ちょっとした差が、決して乗り越えられない大きな心理的な格差になっています。

妻の開業は、私にとっても**大きな励み**になります。

ウエルカムサロンへお越しのあなたに、是非知って頂きたい事があります。

ウエルカムサロン誕生秘話です。

私の愛するあなた（母）への手紙

平成12年2月5日、あなたは突然私の前からいなくなりました。

それまでの数日間、あなたはあまり体の調子が良くありませんでしたね。

たまにしか会わない私の前では、いつも笑顔を絶やさなかったあなた。

私に心配かけないように、気丈に振舞っていてくれたのですね。

あの日は冬の寒い土曜日でした。

いつものように忙しく診療している私に、悲しい一報が飛び込んで来ました。

私はそんな中、午前中診療を続けました。



いつも土曜日の午前というと、初診や急患など

予約以外の患者様が多いのですが、その日は不思議と全く来られませんでした。

まるであなたが「今日のこの心境では、十分な治療が出来ないでしょう。それでは来院される患者様に申し訳ありませんよ」と言っているようでした。

私は心の中であなたに

「こんな大切な時に、そばに居なくて本当に申し訳ありません。
あなたの無償の愛に答えられなくて、本当にごめんなさい」と

何度もささやきました。

その日ほど「これは現実ではなく、夢であってほしい」と

願った日はありませんでした。

「たとえ現実であったとしても、せめて1日だけ過去に戻してほしい、
最後のお別れを、声が枯れるまであなたに聞いて頂くために」

「たとえ現実であったとしても、せめてもう1日だけ未来に延ばしてほしい。
あなたの暖かい手を、しっかり握りしめることができるように」

あの時、あなたから教わった事。

時間（人生）には限りがある、**1分1秒たりとも無駄に**してはいけない。

そして私が学んだ事。

**自分に素直に生きる。やりたい事を心から楽しんでやる、
決して迷わない、決して諦めない。**



（若き日の父・母）



（母と私）

あの日から早4年半が過ぎました。

その間、あなたから教わったこと、学んだ事を自分なりに理解し、実行してきました。

具体的には、**医院をリニューアル**し、私と患者様、そしてチームメンバー全てが

満足し、幸せになる医院作りをしてきました。

私が目指した**理想の歯科医院**は、感謝の言葉があふれる歯科医院

感動を与え続ける歯科医院、そしてワクワク楽しい歯科医院 です。

そのために2階にウエルカムサロン（予防サロン）をオープンしました。

そして、ウエルカムサロンに是非来て頂きたい人
それは、子育てから離れ、これから第2の豊かな人生を歩もうとする女性です。

私の愛するあなたにこそ、このフロアを使ってほしかったのです。
あなたに健康で豊かな人生を、過ごして頂きたかったのです。

例えば・・・

○新米だった頃に私が心を込めて作ったさし歯を、1日でも長くもたせてあげたい。

○虫歯もない健康で美しい歯は、一生そのまま使って頂きたい。

○治療の時いつも緊張の連続のあなたに、少しでも安らぐ空間でリラックスして
アフターケア（お口のクリーニング）を受けて頂きたい。

○時間や周囲の雑音を気にせず、心から会話を楽しんでほしい。

○私のお気に入りの小物やオブジェなど、心ゆくまで見て頂きたい。



（ウエルカムサロンにある、お気に入りのオブジェ）

全てあなたのために用意したものです。

あと3年早ければあなたも使って頂けたのですが。

そして、その心地よさを体験し、あなたの満足した笑顔を見たかったのです。

今はそれも叶わぬ夢となりました。

しかしあなたの「患者さんの心の痛みが分かる優しい歯科医師になりや」

という言葉が胸にこれからも

あなたの分まで強く生きていきます。

新たな旅立ちの時を迎えて

ここまでお読み頂き、本当に有難うございます。

ヨリタ歯科クリニックは、**平成14年11月3日、リニューアルオープン**しました。

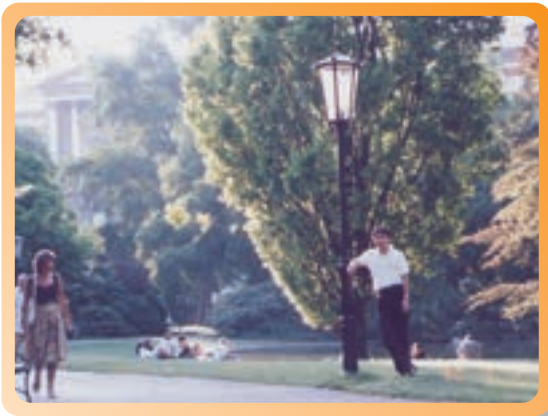
ただ単に古くなった内装を変えただけのものではありません。

診療室の面積を2倍に増した、大規模なものになりました。

しばらく来れなかった患者様の中には、外観は変わっていなかったため、
内に入って、**ビックリされた人**も多くいました。

このリニューアルは、**私の新たな挑戦**でもありました。

歯科医院は歯を削ったり詰めたりするところではなく、あなたの大切な歯を
虫歯や歯槽膿漏から守る所だ、とあなたに是非知ってもらいたかったのです。



そのため、あえて1階、2階を分けて、2階を**ウエルカムサロン**と名づけました。

これは、**私の強い意志の現れ**です。

“**こだわり**”の部分です。そして私の夢に終わりはありません。

“**理想の自分を求め**” これからも、様々な事にチャレンジしてまいります。

あなたの満足と、信頼を得るために、**新たな夢に向かい、私は旅立ちます**。

最後に私の好きな言葉を、あなたに心を込めて届けます。

「夢は願えば叶う！そしてその夢に日付けを入れよう！」

ドリームマスター 寄田 幸司